

2019年度 和歌山市立西脇中学校 スクールプラン(学校運営計画書)

校長名 西野 孝

作成日 2019年 5月 8日

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 子供の学力を定着させてほしい
- 規範意識や学習規律を育ててほしい
- 様々な活動を通じて「ゆたかな心」を育てて欲しい
- 地域に誇りをもってほしい

【学 校 教 育 目 標】

共に 豊かに 生きる

【めざす児童（生徒）像】

- ・基本的な学力と生活習慣を身につけた生徒
- ・誠実で、思いやりがあり、個性豊かな生徒
- ・強い身体とたくましい心をもつ子供
- ・助けあい、励まし合い、共に高めあっている生徒

前年度の学校評価

- 授業改善が進んでいる
- 学校の様子が保護者・地域等によくわかるようになってきた
- 地域との連携について進んでいる

児童（生徒）の実態

- 恥ずかしがってあいさつができない
- 時間を守って行動できる
- 最後まで粘り強く取り組む力が弱い
- 家庭学習の定着率が低い
- 家庭で読書をする生徒が少ない

重点目標

確かな学力の向上

- 基礎・基本の確かな定着
- ◎「学び合いの授業」の推進
- 家庭学習の定着
- 読書活動の推進

豊かな心の育成

- ◎道徳・人権教育の充実
- ◎いじめの未然防止、早期発見
- 仲間づくりの実施

健やかな体の育成

- ◎体力向上の推進
- ◎運動部の活性化
- 基本的生活習慣の確立

地域とともにある学校

- ◎家庭・地域との連携充実
- ◎小中の接続、中学校区における学校間連携の推進
- 地域の資源活用の推進

具体的な取組

- 「学び合いの授業」による授業改善で一人ひとりの学びを保証し、個に応じた学力の伸長を目指す
- 「きのくに学力定着フォローアップ事業」を活用し、教員全体の授業力を向上させることで生徒の学びを支援する
- CULTEKを活用することで家庭学習をサポートし、基礎学力の定着を図る
- 「朝の読書タイム」を充実させることで読書の楽しみに気付かせる

- 「道徳の教科書」「希望へのかけはし」を活用し、道徳科の授業を充実させる
- いじめアンケートを年間に複数回実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める
- 情報モラルやネット社会に潜む危険性について、学ぶ機会をもつ
- 「学び合いの授業」によるグループ学習の手法を生かし、学級活動、学校行事、生徒会活動などで誰にでも出番がある学校をめざす

- 「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨する
- 運動部への入部を推奨し、それぞれの目標に向かって自主的に体力の向上を目指すように指導する
- 避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する

- ぐるりんメール、ホームページ、各種通信を通して学校の予定や学校生活の様子を積極的に発信する
- 小中の接続、中学校区での小中、中の連携を推進・充実する
- 図書ボランティア、クラブ講師等の人材や、地域の自然・文化を積極的に活用する
- 磯の浦の海岸清掃活動、吹奏楽部や科学技術部、JRC部などが地域でボランティア活動を行う

指標

- ・県学習到達度調査で基本問題の正答数が前年度を上回る
- ・授業力向上のため各学年2回ずつ研究授業を行う

- ・「学校が楽しい」（生徒80%）
- ・「自分には良いところがある」（生徒肯定的70%）
- ・いじめの早期発見早期解消に取り組む（解消率100%）

- ・朝ごはんを食べた（生徒90%）
- ・積極的に運動を行うよう計画し、実践した（教師90%）

- ・学校の様子がよく伝わった（保護者90%）
- ・中学校区で接続、連携した取組を具体的に実践できた（教師90%）

◎：特に重点的に取り組むこと